

## 今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

その他情報も  
HPで公開中!

### 乾乳期の乳房炎予防対策

乳房炎の新規感染リスクは泌乳期よりも乾乳期の方が高いと言われています。

特に、乾乳始めの2週間と分娩前の2週間に新規感染率が高く、この期間の感染をどれだけ減らせるかが、乳房炎予防の鍵となります。

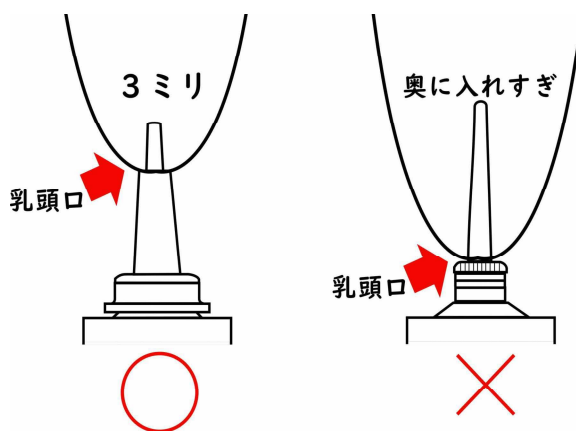
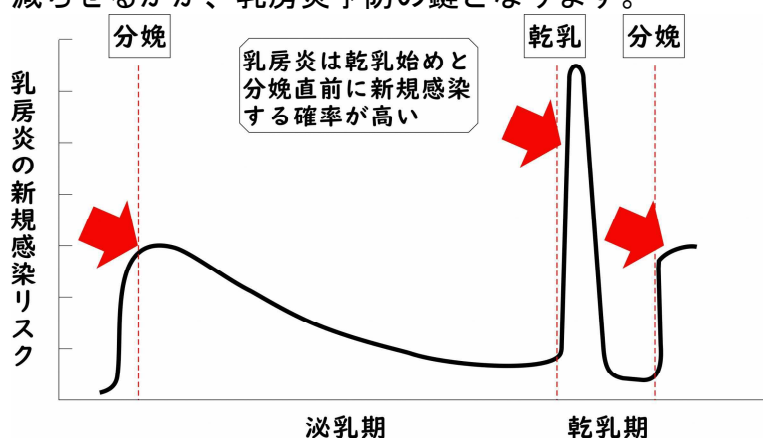


図1 乳房炎の新規感染時期 Natzke1981より重引き

図2 乳頭口へ乾乳軟膏を注入する場合のポイント

#### 1 乾乳期を迎える前の検査

乾乳予定日の1～2週間前に、乳汁検査やPLテスターによって乳房炎に罹患していないか確認しましょう。

乳房炎の場合はN O S A I 獣医師の指示に従い、治療を行いましょう。

#### 2 乾乳軟膏の使用

乳汁検査やPLテストの結果が陰性であったり、乳房炎が治癒した後は、乾乳軟膏を注入しましょう。乾乳軟膏は乳頭先端から3ミリ以内に注入し、乳頭管内にあるケラチン層を傷つけないようにしましょう。

乾乳軟膏の持続期間はおよそ3～4週間なので、乾乳始めの新規感染を予防する効果が高いです。

乾乳軟膏を注入する際は、乳頭口を70%エタノールで綺麗に消毒した後に行いましょう。

#### 3 乾乳牛の飼養環境

乾乳期間中は牛床に寝わらをたっぷりと敷き、牛体が汚れないように心がけましょう。

また乳房に異常が確認された場合は、直ちにN O S A I 獣医師に連絡しましょう。